

国語	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 漢字や語彙の習得が不十分であり、誤字・脱字が目立つ。 ○思考・判断・表現 文章表現の引き出しが少ない。文章読解では要旨を捉えることに困難が見られる。 ○主体的に学習に取り組む態度 一部ではあるが、課題に対して途中で挫折したり始めからあきらめたりする場面が見られる。	○知識・技能 初読の感想などの添削や定期的な漢字小テストの実施によって、漢字や語彙の定着を図る。 ○思考・判断・表現 教員からの例示やグループワークなどで他者の表現にふれさせることで、表現に幅をもたせる。段落の構成を意識させ、音読を増やして内容理解につなげる。 ○主体的に学習に取り組む態度 スモールステップで課題に取り組ませたり、ワークの再提出期間を設けることで、根気強く学習に取り組む態度を育成する。
2年	○知識・技能 漢字などは徐々に定着しているものの、語彙に関して習得が不十分である。 ○思考・判断・表現 表現の創意工夫に関して課題が見られる。また、要旨を捉えるなど、文章の主訴を簡潔にまとめることができない。 ○主体的に学習に取り組む態度 自分で課題を設定し、粘り強く取り組む事ができない。	○知識・技能 定期的に語彙を生かす短文作成などに取り組み、語彙の定着を図る。 ○思考・判断・表現 本文の要約や情報の取捨選択に取り組む場を増やし、情報を適切に選び取る力をつける。 ○単元ごとに生徒に課題設定をさせ、自ら学びに向かう力をつける。
3年	○知識・技能 漢字や語彙については日々の指導が結果となって表れてる。 ○思考・判断・表現 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。また資料や機器を用いて自分の考えを表現することにも課題が見られた。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して、主体的に学び深めていくことに課題がある。	○知識・技能 今後も継続して漢字や語彙の指導はしていく。既にICTを使用しているので、こちらも併せて継続していきたい。 ○思考・判断・表現 物語的文章や説明的文章それぞれにおいて、構成や展開を意識する学習活動を行っていく。また自分の考えをまとめる学習活動についてICTをさらに取り入れていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 適宜ICT教材を使用し、生徒が意欲的に学習できるような環境や活動を行っていく。

社会	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 基礎的知識が体系的に習得されていない。 ○思考・判断・表現 資料の読み取りに対しての苦手意識がある。資料を活用して、自らの意見をまとめることが課題。 ○主体的に学習に取り組む態度 自ら学びに向かう気持ち・態度が見られる場面が少ない。	○知識・技能 ワークブック等を授業中にくりかえし活用し、基本的な用語の習得を図る。 ○思考・判断・表現 クロームブックを活用し、適切な資料を選択し、自らの意見をまとめる力をつける。 ○主体的に学習に取り組む態度 自分の意見を書き、発表する場を多く設定する。
2年	○知識・技能 基本的な技能を定着している割合は全体的に多いが、習得されていない生徒が一定数おり、学習内容の理解に個人差が見られる。 ○思考・判断・表現 資料の読み取りやレポート作成では、資料を根拠に自分の考えを表現する力に課題があるほか、応用問題で知識を結び付けて解答する力に課題が見られる。 ○主体的に学習に取り組む態度 意欲的に学習に取り組む生徒も一定数見られる一方で、学習への関心や積極性に差があり、授業中の集中力の持続に課題が残る。	○知識・技能 ICTを活用して視覚的に理解ができるように促していくほか、基本事項の定着を図るため、小テストやワーク課題の定期実施により理解状況を見える化していく。 ○思考・判断・表現 資料の読み取りから考察に至るプロセスを段階的に指導し、グループワークでの意見共有活動を通して、考えを言語化する力を伸ばしていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 本時の学習目標を提示し、教え合いによる振り返り活動を継続的に行い、目的意識と達成感をもたせるほか、生徒が興味をもちやすい単元課題を設定し、学習が自分事として捉え、主体的に関われるような工夫をする。
3年	○知識・技能 知識が断片的になりがちで、体系的に習得されていない。 ○思考・判断・表現 様々な資料を比較し、資料から適切に考え判断し、表現できていない。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して、主体的に学び深めていない。	○知識・技能 ICTを活用して視覚的に理解ができるように促していくほか、基本事項の定着を図るため、ワーク課題の定期実施により理解状況を把握する。 ○思考・判断・表現 資料の読み取りから考察に至るプロセスを段階的に指導し、グループワークでの意見共有活動を通して、考えを言語化する力を伸ばしていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 本時の学習目標を提示し、目的意識と達成感をもたせるほか、生徒が興味をもちやすい単元課題を設定し、主体的に関わる工夫をする。

数学	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 知識を体系的にまとめることが困難である。 ○思考・判断・表現 学んできたことの活用方法が分からない生徒が多い。また、それらを言語化し他者に伝える力が低い。 ○主体的に学習に取り組む態度 他者との話し合いや、教員からの助言があるまで、手を動かさない生徒がいる。	○知識・技能 I C Tを活用し、反復的な学習を促進する。 ○思考・判断・表現 知識を身に付けさせる段階から、その導出過程に着目するなど、暗記的な学習にならないよう注意する。また、話し合い活動を積極的に取り入れる。 ○主体的に学習に取り組む態度 振り返りの時間を継続的に取り入れ、必要に応じてフィードバックを行い、苦手意識をなくしていく。
2年	○知識・技能 用語や公式は理解していても、問題に適用する際に混乱が見られる。 ○思考・判断・表現 自分の考えを言語化する力が弱く、解法の理由や過程を説明できない生徒が多い。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して受け身で、間違いを恐れて手を動かさない傾向がある。	○知識・技能 導入での知識確認を充実させ、視覚教材（図、ICTなど）を活用する。 ○思考・判断・表現 ペアや小グループでの対話的活動を増やし、解法の根拠や別解を共有する場を設ける。 ○主体的に学習に取り組む態度 単元のゴールや学ぶ意義を明確に提示し、自分の達成状況を記録するシートを活用。
3年	○知識・技能 授業内での理解は高いが、テストなどに結び付いていない。 ○思考・判断・表現 思考・判断において、数学的思考を活用しようとするがどう活用したらいいのかわからない。また、それらの問題すら取り掛かろうとしない生徒もいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 教員からの指示だけをやり、自ら主体的にできていない生徒がいる。	○知識・技能 技能の定着においては、I C Tを活用し、習ったタイミングから時間を空けて再度取り組めるようにする。 ○思考・判断・表現 デジタルドリルを活用し多くの問題に取り組み、知識・技能を活用して数学的問題に取り組めるパターンを習得する。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業毎に自らの学習の振り返りを行っていく。

理科	課題分析	授業改善案等
1年	○経験・体験の不足 身のまわりの自然に関わる機会が減っているため、自然で起こる現象・事象について関心をもっていない。特に身近な生き物に対する嫌悪感を抱いている生徒が多くて生物の授業がやりにくい。マッチに対する恐怖感も強く、ガスバーナーの操作に手こずっている。 ○思考・判断・表現 与えられた問題に対して、地図や図表、グラフから情報を選び抜き、知識と組み合わせで答えを導き出せる生徒が少ない。暗記に頼り、内容を理論的に整理して思考することができない。	○日常生活における教科との結びつきの構築 宇宙の中の地球という惑星の稀有な環境、そこに育まれる生命の貴重さ、という視点で、命あるものの尊さを学ばせていきたい。実験では基本的な器具の操作を訓練し、操作手順も熟知させた上で、安全に実験を行っていく。 ○思考・判断・表現 判断力や考察力の基礎となる知識の定着化を図るとともに、情報を利用して理論を組み立てていく思考の訓練を繰り返していく。
2年	○知識技能 大事な言葉を覚えている生徒はとて多いが、顕微鏡やガスバーナーなどの実験道具の使い方やスケッチの仕方等の技能の部分が十分な力がついていない傾向にある。 ○思考・判断・表現 実験結果と考察を混同したり、結果から何が読み取れるのかわからなかったりする生徒が多い。調べ学習のまとめレポートで他者にとってわかりやすい表現をすることが苦手な生徒が多い。	○知識技能 実験を行う前に、実験道具の使い方の確認を行い、技能の定着をはかる。実験が行えない場合も、クロームブックなどの様々なICT教材を活用し、映像をみせ、そこから結果の読み取り、考察をする流れを定着させる。同時に実験を小規模で行うための方法を考えるなど、教材開発を行っていく。 ○思考・判断・表現 実験で用いるプリントのチェックを行い、生徒が何を発見し、何を考えたのか把握する。そのうえで、実験のまとめを行う際は生徒の考えを全体で共有する。疑問に対してその場で全員で考え、結論を導き出す。
3年	○知識・技能 基礎的な知識がある生徒は多いが、1, 2年時に学習した実験技能が身につけている生徒が少ない。 ○思考・判断・表現 与えられた問題に対して、図表やグラフから情報を選び抜き、知識と組み合わせで答えを導き出せる生徒が少ない。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して、主体的に取り組めていない生徒もいる。	○知識・技能 理科室で基本的な観察・実験技能（スケッチ、顕微鏡、気体の集め方など）の復習を行う。eライブラリを活用し、反復練習を行う。 ○思考・判断・表現 問題理解や図表・グラフの読み取り方を復習する。入試に向けた模試を活用することで、この力が伸びると考える。 ○主体的に学習に取り組む態度 導入や課題のテーマを工夫し、生徒の興味関心が引ける題材を用意する。

音楽	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 ・ 共通事項の理解が不十分なことがある。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 音楽表現することに照れを感じる生徒がいる。	○知識・技能 ・ 音楽活動の中で折に触れ、共通事項を取り上げて、実感を伴った理解を促す。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ・ 語彙を増やせるように授業内容、発問、ワークシートなどを工夫し、改善を図る。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 技術的なことをしっかり教え、表現しやすい雰囲気作りも同時に行う。
2年	○知識・技能 ・ 共通事項の理解が不十分なことがある。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 音楽経験による感動を味わわせること、音楽によって心が動く体験をさせることが課題。	○知識・技能 ・ 音楽活動の中で折に触れ、共通事項を取り上げて、実感を伴った理解を促す。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ・ 語彙を増やせるように授業内容、発問、ワークシートなどを工夫し、改善を図る。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 音楽に触れる感動、理解が深まる感動、つくり上げる感動を味わえるよう、授業計画を工夫する。
3年	○知識・技能 ・ さまざまな音楽経験、多様な音楽文化に触れることが大切と考えるが、授業時数も少なく工夫が必要。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 中学校卒業後に音楽によって生活や心を豊かにし、音楽を愛好する心情をもてる生徒を育てることが課題。	○知識・技能 ・ さまざまな音楽経験ができるよう、指導計画を工夫する。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ・ 語彙を増やせるように授業内容、発問、ワークシートなどを工夫し、改善を図る。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 多様な音楽に触れられるよう指導計画を改善する。 ・ 音楽に触れる感動、理解が深まる感動、つくり上げる感動を味わえるよう、授業計画を工夫する。

美術	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 基礎的な技能の定着ができていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 自由な思考から美術的な表現につなげていくことが苦手な生徒がいる。 ○主体的な態度 完成を見越した進め方が苦手で制作が遅れてしまう生徒がいる。よりよい作品を作るという気持ちが薄い生徒がいる。	○知識・技能 授業毎にクロッキーを実施、短時間で形をとらえる練習を繰り返し実施する。 ○思考・判断・表現 鑑賞活動を充実させる。決まりきった表現や真似に少しの工夫をすることで表現が変わることを体験させる。 ○主体的な態度 全体への予定表の提示で見通しをもたせる。より良い作品にする方法を提示し、その中から自分で選択し進められるような工夫をする(タブレットも使用)。
2年	○知識・技能 制作に必要な技能を習得していく過程に十分時間を割けていない。生徒自身が授業を通して知識や技能が身についているという実感が弱い。 ○思考・判断・表現 制作のためのアイディアスケッチ(図案、下絵)で発想に時間がかかりすぎたり、発想を表現へ上手くつなげていきづらい。 ○主体的に学習に取り組む態度 作品を期限内に完成させる意識が低い生徒が少なからずいる。	○知識・技能 同単元の複数回の授業の中で知識・技能に関して確認や復習をさせながら向上をはかっていく。また、単元の最初と最後でどういった発展があったかを生徒と共に確認する。 ○思考・判断・表現 アイディアスケッチでは参考例を適度に見せるようにする。参考例によって生徒が丸ごと真似をしないよう注意し、発想に意外な着眼点をもたせる工夫をする。生徒それぞれが一工夫加えられるような助言や授業運びを行う。 ○主体的に学習に取り組む態度 それぞれの作業工程の区切りを明確にし、目標を具体的に据え、生徒が主体的に作業を進めていけるようにする。
3年	○知識・技能 基礎的な技能が弱い生徒がおり、以前取り組んだ学習や鑑賞の知識等が活かできていない。 ○思考・判断・表現 見通しをもって制作するのが難しい生徒がいる。自由な表現を楽しみながら活動できているが、技能と思考との結びつきが弱い。 ○主体的な態度 制作が遅れてしまう生徒がいる。	○知識・技能 学習のつながりや発展が分かるように参考作品の提示と鑑賞方法を見直す。技能は実演しながら(させながら)全体への定着を図る。 ○思考・判断・表現 表現方法の意図を想像する話し合い活動から思考させる。 ○主体的な態度 個々の計画ではなく全体に見える表示を元に進める。

保健体育	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 積極的な授業参加により、知識を得ることは多くの生徒ができています。しかし、その知識を技能で活かすことができていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ知識や習得した技能を活かして、自己や仲間の課題を発見し、助言をすることが難しい。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して自主的に取り組む力、繰り返し粘り強く取り組む力に乏しい生徒がいる。	○知識・技能 生徒同士の教え合いや指導の個別化を行う。また、基本技能の習得と試合を平行して行い、その種目の特性を捉えながら再現性を高める。 ○思考・判断・表現 ICT機器と実技書を活用して動画資料の提供を行い、視覚的に動作を分析をしたり、自己や仲間の動作を撮影し、動画資料との比較を行わせる。また、学習カードに記入することにより、正しい語句や表現方法を身に付けさせる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器と学習カードを併用することにより、多角的な視点で学習が進められるようにする。
2年	○知識・技能 積極的な授業参加により、知識を得ることは多くの生徒ができています。しかし、その知識を技能で活かすことができていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ知識や習得した技能を活かして、自己や仲間の課題を発見することが難しいが、他者への助言をしようとする意欲はある。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して自主的に取り組む力、繰り返し粘り強く取り組む力に乏しい生徒がいる。	○知識・技能 生徒同士の教え合いや指導の個別化を行う。試合等の実践を通して再現性を高められるようにする。 ○思考・判断・表現 ICT機器・実技書を活用して動画資料の提供を行い、視覚的に動作を分析させる。また、自己や仲間の動作を撮影し、動画資料との比較を行わせる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器と学習カードを併用することにより、多角的な視点で学習が進められるようにする。
3年	○知識・技能 積極的な授業参加により、知識を得ることは多くの生徒ができています。しかし、その知識を技能で活かすことができていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ知識や習得した技能を活かして、自己や仲間の課題を発見することが難しい。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して自主的に取り組む力、繰り返し粘り強く取り組む力が弱い生徒がいる。	○知識・技能 生徒同士の教え合いや指導の個別化を行う。 ○思考・判断・表現 ICT機器を活用して動画資料の提供を行い、視覚的に動作を分析させる。また、自己や仲間の動作を撮影し、動画資料との比較を行わせる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器を活用して動画資料の提供を行い、授業以外でも視覚的に習得すべき動作を生徒自ら見られるようにする。

技術科	課題分析	授業改善案等
1年	【知識・技能】 自分の日常生活に結びつけて学習を深められない生徒が知識の定着が難しい傾向にある。 【思考・判断・表現】 学習した知識から、より発展的なテーマについて思考を深められない生徒がいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活との結びつきを考えづらく、積極的に学びに向かえない生徒がいる。	・身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ・日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ・今、考えている題材ができるようになると日常生活にどのような変化が生まれるのかをわかりやすく提示する。
2年	【知識・技能】 現在行われている自動化制御等、日常生活に関連付けて考えられない生徒がいる。 【思考・判断・表現】 学習した知識から、より発展的なテーマについて思考を深められない生徒がいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギー変換等の技術が今日の生活を支えていることを実感をもってイメージがわからない生徒がいる。	・身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ・日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ・過去と現在の技術の進化をわかりやすく説明し、現在の生活と関連していることを意識付けし、学習意欲を高められるようにする。
3年	【知識・技能】 情報やプログラミング等に抵抗感が強く、そもそも学習に向かうのが難しいという生徒がいる。 【思考・判断・表現】 基礎的な知識の定着が難しく、その先の思考を深めることが難しい生徒がいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の技術が今日の生活を支えていることを実感をもってイメージがわからない生徒がいる。	・身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ・日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ・情報技術の革新をSociety5.0の観点からわかりやすく説明し、現在の生活と関連していることを意識付けし、学習意欲を高められるようにする。

家庭科	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 自分の食生活に結びつけて学びを深められる生徒と、興味がもてずに知識の定着も出来ない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ栄養素の知識から、自分の食生活での問題解決へと結びつかない生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 普段の生活の中から課題を見つけることが難しい生徒が多くいる。各家庭における食事への関心や価値観の違いの影響も考えられる。	○知識・技能 ICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示したり、献立作成サイトなどを活用したりして、より分かる授業を行う。 ○思考・判断・表現 各家庭の食生活の経験による知識の差や価値観の違いにも十分に配慮しつつ、個人ごとの取り組みを共有して学びを深める。 ○主体的に学習に取り組む態度 2学期には調理実習を実施し、食事の役割や調理することの楽しさに触れる機会を多く設け、自分食生活を見直し改善できるようにする。
2年	○知識・技能 被服実習では、手先が器用で作業内容への理解力が高い生徒は、早く進むが、そうでない生徒はとても時間がかかってしまう。 ○思考・判断・表現 生活を工夫し創造する力の中から課題を見つけることが難しい生徒が数名いる。 ○主体的に学習に取り組む態度 自分の衣服の管理を親任せにしている生徒も多いため、実生活に結びつけて課題や問題点を改善する力を養う。	○知識・技能 被服製作では、誰がみてもわかる手順書を作成し、タブレットに配信してすぐに手元で確認出来るようにする。 ○思考・判断・表現 毎時間の振り返りを記録し、次に繋げられるシートを作成する。 ○主体的に学習に取り組む態度 夏休みには家で洗濯実習を行う宿題を出し、学んだことを活用して実生活につなげる。
3年	○知識・技能 2週に1回の少ない授業でも、幼児について学習に意欲的に取り組み、知識もしっかりと身につけている。2学期には昨年学んだ裁縫の技術を使って、子どもが喜ぶおもちゃ作りに取り組む。 ○思考・判断・表現 学んだ知識からさらに深く考える内容になると、弟妹など周りに小さい子どもがいる生徒は実体験をもとに考察し表現出来る、逆にあまり興味がない生徒などは知識だけではなかなか想像出来ず、学びが深まらない。 ○主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の生活について、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する力を身につけたい。	○知識・技能 幼児の生活に興味をもってもらえるよう、子育て中の教員にも協力してもらい、写真や動画を紹介して興味をひく。 被服製作では、誰がみてもわかる手順書を作成し、タブレットに配信してすぐに手元で確認出来るようにする。 ○思考・判断・表現 毎時間の振り返りを記録し、次に繋げられるシートを作成する。 ○主体的に学習に取り組む態度 家庭生活や子育ての時事問題として新聞記事やネットニュースなどを活用し、問題意識を高める。

外国語	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 どの単元か事前に分かっていたら問題が解けるというように、知識が断片的であり、体系的に習得されていない。 ○思考・判断・表現 語彙や表現が限定的で引き出しが少ない。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業中に指示されたことには熱心に取り組むが、主体的に家庭学習に取り組むことはできていない。	○知識・技能 既習事項を繰り返し言語活動で活用する場面を設けたり、様々な単元が混ざった混合問題に取り組む時間を定期的に設ける。 ○思考・判断・表現 英作文などお互いに共有できる機会を設けて引き出しを増やす。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器を活用し、主体的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
2年	○知識・技能 知識が断片的であり、体系的に習得されていない生徒が少なからずいる。 ○思考・判断・表現 語彙や表現が限定的である。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業は熱心に取り組むが、主体的に家庭学習に取り組む生徒は限られている。	○知識・技能 既習事項を活用する場면을定期的に設ける。 ○思考・判断・表現 英作文や発表などお互いに共有できる機会を増やす。 ○主体的に学習に取り組む態度 eライブラリー等ICT機器を活用し、主体的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
3年	○知識・技能 3年間の知識が整理できておらず、既習文法や単語の定着が不十分な生徒がいる。 ○思考・判断・表現 自己表現の際に今まで学んだ知識・技能をうまく活用できない生徒が多くいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 場面ごとに適切な表現をできるよう、知識・技能を定着させながら進んで英語を使おうとする姿勢を養う必要がある。	○知識・技能 帯活動を継続する。小テストを定期的を実施し、基礎基本の定着を図る。 ○思考・判断・表現 文法を学ぶ際、その表現を使用する適切な場面や状況を考えさせる。ICT機器を活用して場面や状況を設定し、英会話や英作文など自己表現の練習を積み重ねる。 ○主体的に学習に取り組む態度 自己表現する機会を多く設定し、生徒がその都度、自身の課題を把握しながら知識技能をうまく活用できるよう支援していく。